



# 秋田県立大曲支援学校せんぼく校 教育プラン

令和5年度～令和9年度

## I 学校の現状と課題 ・ 学校を取り巻く将来の状況の予測

### I 学校の現状と課題

仙北市角館町に立地し、全国的にも有名な武家屋敷通りや桜並木の桧木内川堤に近い。仙北市は観光資源も多く、学習活動にその資源を生かすことが期待できる環境にある。3年間の大曲養護学校せんぼく分教室時代を経て、平成28年4月に大曲支援学校せんぼく校として仙北市角館町に開校した。角館高等学校定時制課程の校舎に隣接し、体育館やグラウンドを共用している。

#### (1) 児童生徒状況

令和5年度は、小学部7名、中学部15名（訪問教育1名含む）、高等部17名、計39名の児童生徒が在籍している。仙北市在住の全児童生徒のうち、小・中学校特別支援学級に在籍している各学年の児童生徒数や、せんぼく校の小学部から高等部の各学部での在籍状況から、当面35名前後の在籍者数で推移するものと予測している。中学部や高等部段階で入学する生徒が増加する傾向にある。また、仙北市と隣接している大仙市中仙地区等からの入学者が一定数予想される。

#### (2) 特色ある教育活動

高等部に、学校設定教科「観光」を設定し、学校全体としても観光地である仙北市の地域資源を学習の場として積極的に活用し、将来の社会参加や職業自立に結び付くような地域の中での学習活動を展開している。また、樺細工や鎌足和紙づくりなど、地場産業等と関連した作業学習を実践している。令和3年度より、「地域が教室はじめの会」「地域が教室まどめの会」を行って、地域の方々と連携を図って取り組んでいる。

### 2 学校を取り巻く将来状況の予測と課題 ※3-(1)などはⅢの目標等に対応している

(1) 発達障害や不登校傾向のある児童生徒の在籍が増加すると予想される。自己理解を大切に、自己肯定感や自己有能感を育てる指導が必要となる。また、障害に関する肯定的理解につなげるため、早期からの教育相談や障害に関する研修を行う必要もある。3-(1), 4-(1)(2)

(2) 少子高齢化が進み、地域を支える人材が少なくなる状況を踏まえ、本校の卒業生が、地域で社会参加して生活していくためには、地域（社会）に開かれた教育課程を実現し、関係者間のネットワークを構築していくシステム作りが必要である。交流及び共同学習及び障害理解授業等の実施により、障害のある児童生徒に対する理解啓発を図る必要もある。

#### 1-(1)(3)

(3) 働き手不足、担い手不足が予想されるが、適性に応じた就労先を決める進路指導に加え、関係機関との連携を図った就労生活を支える進路学習が必要である。2-(1)(2)

(4) 広範囲の地区からの通学となっているため、災害時に備えて各中学校区等と連携した引き渡し訓練など、関係機関と連携した避難訓練や防災学習を実施する必要がある。3-(2)

## Ⅱ 目指す方向性・学校像や児童生徒の姿

### 1 学校像～「瞳かがやき、笑顔あふれる学校」

- (1) 地域に根ざした学習活動、地域の人々との日常的な交流活動
- (2) 地域における本物の体験を通じたキャリア教育の充実
- (3) 児童生徒の主体性を育む学校環境整備

### 2 児童生徒像

児童生徒一人一人の障害の状態や発達段階、特性等に応じた知識、技能及び態度を身に付け、積極的に社会参加、職業自立できる児童生徒を目指す。

- (1) じょうぶな子 健康で、安全な生活ができる児童生徒
- (2) すなおな子 明るく、仲良く、礼儀正しい児童生徒
- (3) がんばる子 進んで取り組み、最後までやりぬく児童生徒

## Ⅲ 具体的な目標・取組・推進指標

### 1 地域(社会)に開かれた教育課程の実現と特色ある教育活動の展開

- (1) 地域の資源や教育力を生かした特色ある教育活動の展開と、推進するための組織運営
- (2) ICTの効果的な活用による、資質・能力を育むための授業改善
  - ◆推進指標→ICTを活用した授業 R5→R9(60%→80%)
  - ICTを活用できる教員R5→R9(60%→95%)
- (3) 児童生徒が主体的に関わる、地域の小・中・高等学校との交流及び共同学習の推進
  - ◆推進指標→各学部学校間交流の5年間の継続と充実(小3/6校 中3/5校)
  - 小中学校での居住地校交流 R5→R9(40%→50%)

### 2 将来を見据えたキャリア教育の充実と生涯学習の推進

- (1) キャリア発達を促し主体的な進路選択につなげる、各学部を通じた進路学習の実施
  - ◆推進指標→全卒業生の一般就労者の割合R9で50%
- (2) 関係機関と連携した、生涯を通じて学ぶ場の構築

### 3 安心・安全な生活を支える生徒指導・安全教育

- (1) 自己理解・他者理解を大切にした自立活動や特別活動を軸とした自己有用感や自尊感情を育む教育活動の展開
- (2) 関係機関等と連携した避難訓練等の実施と、専門家による安全教育の推進

### 4 学校の専門性を生かすセンター的機能の強化

- (1) 関係機関等と連携した、就学前の教育相談や支援の充実
- (2) 地域の学校等のニーズに応える研修会の実施